

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 18 No 07

204号

平成22年 7月 9日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

第9回東北外来小児科学研究会

院長

今月は新聞発行が遅れて申し訳ありません。実は理由があったからです。その理由も含めて、記事にしたいと思います。

7月4日(日曜日)に、東北大学病院の向いにある良陵会館(ごんりょうかいかん)で、第9回東北外来小児科学研究会が開催されました。この会は東北地方の小児科医やスタッフのために年1回開催される研究会です。毎年持ち回りで会場が変わり、去年は福島県が担当でした。今年は宮城県の担当で、去年の会から院長が世話人になることが決定していました。

年に1回の研究会ということと、交通アクセスのよい仙台で開催するという事で、参加者をどれだけ多く集められるかがプレッシャーになっていました。充実した会にするためには、しっかりした準備が必要であったことはいまでもありません。

このような研究会の大きな目玉は特別講演です。あまり例えは良くはないのですが、いわゆる“人寄せパンダ”です。“人寄せパンダ”ですが、意味を知っていますか。この言葉は1981年の流行語で、田中角栄元総理が使ったのが最初とされています。上野動物園にパンダが中国から贈られ、連日超満員になったことがもとになっているようです。ちょっと話の道がそれてしまいましたが、特別講演は研究会にとって非常に重要な要素なのです。

誰を特別講演にお呼びするか悩みました。新型インフルエンザパンデミックの折には皆さんにもご協力をいただき、ウイルス分離等に関しては東北大学の微生物学分野と協力してきました。今回、新型インフルエンザの研究結果を発表の予定でいました。新型インフルエンザに関する話題作りのために、世界的権威の押谷仁教授を演者に迎えて、新型インフルエンザの総括を聞きたいと思っていました。そんな考えを持ちながら、NHKスペシャルで「MEGAQUAKE 巨大地震」の第4回「津波襲来の悪夢」を偶然目にしました。22万人以上の犠牲者を出したインド洋大津波の研究に関しての世界的権威の東北大学の今村文彦教授が解説されていました。素晴らしい研究を目の前にして、何とか新型インフルエンザと津波を災害として扱い、両教授の特別講演ができないのかとの思いが頭の中に浮かび上がりました。我々が昨年経験した新型インフルエンザも、大きな観点から見れば災害と呼べるものです。

特別講演の大きなテーマを「災害」にすることに決め、未来のため災害から身を守るには災害を正確に評価することが大切で、評価から問題点を見つけ今後の対策に役立てることが何より重要という企画です。ということ



で特別講演の演者が決まり、あとは交渉に臨むだけでした。研究と一緒にしている押谷教授は、二つ返事で承諾をしていただきました。今村教授には災害制御研究センターのHPから連絡先を見つけて、面識も無いにも関わらず、図々しくも直接メールを差し上げました。小児科医療界で少しは有名な院長でも、津波界では全く無名です(笑)。そんなことで少し心配をしていたのですが、ご丁寧な承諾のご返事をすぐに頂きました。正直、返事をもらった時点で研究会の成功を確信できたといっても過言ではない状況でした。

次は一般演題。以前開催した先生から、“一般演題は集まらないから、少し覚悟したほうが”とのアドバイスをもらいました。とにかく身内で固め、インフルエンザ研究3題と“子ども手当てでワクチンを”1題、開始前から4題が準備できた状況でした。一般演題のセクションは午前中の2時間なので、8~10演題ぐらいは必要と考えていました。5月中旬から演題の募集を開始しましたが、最初は梨のつぶで焦るばかりの毎日でした。多くの先生のご協力と好意により演題が集まりはじめ、最終的に13題となりました。時間が不足することを考えて、自分の演題を取り下げました。多く集まったことの嬉しさと満足、自分の演題を取り下げた残念さが、微妙に入り組んだ感情でした。

そんな流れと並行して、特別講演演者の先生との交渉。一般演題のためのお願いと演者との交渉。ランチセミナー(ちょっと耳になじみの無い言葉かも知れませんが:お昼にお弁当をたべながら講演を聞くというものです)の講師の設定と交渉。とにかく、忙しく、忙しい毎日が続きました。演題が集まればホームページへの掲載、プログラムの作製と発送。またまた忙しい日々の連続でした。

最後の最も大きな心配事は、参加者の数でした。仙台開催というだけで多く集まるとのプレッシャーのもと、またまた不安な日が続きました。参加募集を開始して、参加者の数が増えるに従い、不安も徐々に解消しました。日に日に、自分の企画に間違いは無かったとの思いが高まってきたことは言うまでもありません。

当日は、トイレタイムも十分取れないくらい熱気むんむんで時間的につかつたものの、進行等にはトラブルも無く、参加人数は120人を越え盛況のうちに終わることができました。NHKの取材も予定通り、多くの参加者からの温かい労いの言葉で、疲れたけれど充実した時間と満足が得られた研究会でした。最後に、自分自信にお疲れ様”。そしてありがとうございました”

7月のお知らせ

・医学生実習

7月9日(金)

よろしく、ご協力をお願いします。

・栄養育児相談

第2,4水曜日 13:30~

栄養士担当



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
“すべての子どもたちにすべてのワクチンを”

読者の広場

先月は20通のメールを頂きました。新聞の記事をメールニュースで流すべきなのかという問いかけた分多かったのでしょうか。まずは泉区の石川さんから、「いつもお世話になっています。石川やすのすけ、うさきの母です。クリニックニュース読ませていただきました。口蹄疫問題、我が家でもニュースを見ながら「病気だとなんで殺すの?」と子供に聞かれ返事に困るといった出来事があり 勉強になって本当にありがたかったです。パソコンが苦手な私にとってはこうして携帯にクリニックニュースが届いて読めるというのはありがたいと思



た。話は変わりますが、青葉区春期のポリオで先生が担当でいらした日にヤスノスケとうさきの祖母(私の母でポリオ時に区役所でアルバイトしているのです)が先生に是非挨拶したいと声を掛けるところにこやがにお話ししてくださったとの事でお忙しいところ失礼しました。そしてありがとうございました。メール長くなりましてすみません...失礼いたします。続いては青葉区の佐々木さんからです。「いつもお世話になっております。"CLINIC NEWS6月号の記事についてこのメールで読めるようにしたほうが良いかどうか"の件ですが...私は月に1回は通院していますので、その時に今まで通りに受付でコピーで頂けたら嬉しいです。私は携帯で読ませて頂いていますので、長文となると一気に読んで理解するのは今回は難しかったです。早くクリニックニュースを読みたい人の為に『〇月号出ました。内容は〇〇についてです』のお知らせ方が良いのかな~と個人的に思いました(o^-)-b)生意気言ってすみません(T_T)」。もう1人宮城野区に加藤さんから「こんばんは、メールありがとうございます。メールでクリニック新聞が読めるのはいいですね!その月に病院に行かない事がある。パソコンや携帯で見にくい事があんまりないので(なんで見にくいのか~?[笑])。メールならチェックするから、必ず目にトメると思いました。」皆さん、ありがとうございます。大事なことは、多くのお母さん(お父さんも)から、ご意見を頂くことです。確かに読みにくい、パケット代がかかる?!。行かない月がある、パソコンを使っていない?!。すこし考えてみます。

任意接種費用スリ

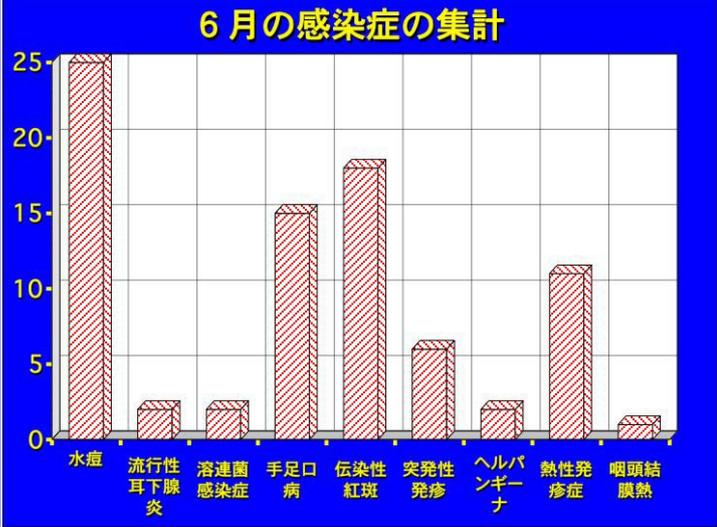
新しい小児用ワクチン相次ぎ認可

ワクチン名	年齢	接種回数	接種料	接種期間
13価肺炎球菌ワクチン	2歳	1回	1,000円	7月1日~
髄膜炎球菌ワクチン	2歳	1回	1,000円	7月1日~
破傷風・百日咳・ジフテリア混合ワクチン	2歳	1回	1,000円	7月1日~
水痘ワクチン	1歳	2回	1,000円	7月1日~

医師ら「子ども手当活用を」

「子ども手当をワクチンに」の取組み 7月7日の河北新報で紹介

“子ども手当をワクチンに”活動評価されてきています。7月7日には河北新報の朝刊(それもカラーで)に載りました。6月15日のNHKは待合室で常時流しています。この意識を全国的に広げたいと思っています。ご協力をお願いします!



相変わらず水痘が、大流行で20人以上が続いています。溶連菌感染症は減少しました。おたふくも少なくなりましたが、小学生のおさんが髄膜炎で入院しました。夏に多くみられる手足口病と伝染性紅斑(りんご病)が増加しています。手足口病は、例年より発熱の頻度が高い印象です。しかしマスコミで騒いでいるような脳炎などの重症例はありません。高熱とどの痛みのヘルパンギーナ(夏カゼの典型)も増えています。

Mail News 発行のお知らせ

従来HP、院内掲示などの方法で、様々な情報を提供していましたが、迅速性に欠けるところがありました。解消のためMail Newsを発行しています。現在80人を越えるお母さん方に登録をいただいています。携帯でもPCでも可能です。右上のバーコードでメールが立ち上がります。「登録希望」と登録者、お子さんの名前を書いて、そのまま送信してください。携帯用HPからの登録も可能です。携帯用HPも見やすくなりました。左のバーコードで。ブックマークに登録してください。役に立ちますよ。

予防接種のお知らせ

新しいワクチンに関する情報を掲示しました。また、ホームページに“すべての子どもたちにすべてのワクチンを”コーナーを開設しました。ワクチンのコラム(ママゴン)も掲示してあります。HPにアクセスして参考にしてください。

子宮頸がん予防ワクチン、肺炎球菌ワクチンも開始、ヒブワクチンも供給量が増える予定です。詳しいことは受付まで。

“子ども手当”アンケート回答のお願い

一面記事にも書きましたが、“子ども手当”について、その用途に対する考え方、ワクチン接種に向ける可能性について、アンケートを始めました。結果も見れます。なかなか面白いですよ。携帯の方は右側のバーコードでOKです。PCの方はHPから入れます。よろしく、お願いします。

お母さんクラブのご案内

第1回 子どもによくみられる病気と症状と対処法

—とくに夏に流行する病気(夏カゼ)—

7月29日(木) 福沢市民センター 14:00~

皆さんは夏カゼはどういうものか知っていますか? 夏カゼとは、夏に流行するウイルス感染によって起こる病気です。よく耳にするヘルパンギーナ、プール熱等、高熱がでることが多い病気です。また夏には皮膚の病気も増えます。あせもと汗のかぶれは違います。その区別もしっかりつけましょう。

編集後記

今月号の記事。皆さんにはあまり関係ないかも知れませんが、しかし、院長にとっては大きな出来事です。CLINIC NEWSは歴史も刻んでいます。そんな意味も考えて記事にしました。6月にNHKテレビ、7月に河北新報と、子ども手当でワクチンの取組みが広がってきています。皆さんも、意識を持ってください。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』 III期(中学1年生相当)、IV期(高校3年生相当)も忘れずに!